

1章 Exercise 用ワークシート：「機能障害を理解しよう」

A～Z, a～h, ア～サに該当する機能障害の用語を考えてみよう。

■精神障害と身体障害

精神障害 （A～Z）	「神経症」	(B) 障害	発達早期から精神発達の遅れを示す障害 知的障害 自閉スペクトラム症 限局性学習障害 ADHD コミュニケーション障害（〔(C) 〕：音の繰り返しや延長，ことばの途切れなど話し方のなめらかさに支障）など 運動障害（〔(D) 〕障害：不器用さや運動技能の遂行における遅さと不正確さ）など (E) 障害：突然急速にあらわれる，繰り返し，リズムカルでない動きや発声
		(F) 障害	妄想や幻覚，まとまりのない思考や行動など（統合失調症を含む）
		(G) 障害	気分が高揚して活動が亢進する躁病エピソードが見られる（(H) 障害や，軽躁病エピソードと抑うつエピソードが見られる（(I) 障害などがある
		抑うつ障害	気分が落ち込み，身体的・認知的症状も出現。（(J) 障害）など
		不安障害群	(K) 障害：愛着をもっている人や家からの分離に過剰な不安 (L) 障害：特定の社会的状況で話さない (M) 障害：特定の対象または状況への顕著な恐怖 (N) 障害：他者の注視をあびるかもしれない場面に著しい不安 (O) 障害：突然激しい恐怖に襲われるパニック発作が見られる (P) 障害：多数の出来事に過剰な不安を抱く
		(Q) 障害	考えたくないのに繰り返し考える強迫観念や駆り立てられるように繰り返し行う強迫行為が見られる
		心的外傷およびストレス関連障害群	(R) 障害：養育者に安楽や愛情を求めず交流が乏しい (S) 障害：見慣れないおとなに過度になれなれしく交流 (T) 障害：心的外傷となるような出来事の後，侵入症状，回避症状，過覚醒症状などが生じる適応障害 (U) 障害：はっきりと確認できる心因に反応して，情動面または行動面の症状が出現
		(V) 障害群	パーソナリティの同一性が破綻する解離性同一性障害，強いストレスを感じたことの想起ができなくなる解離性健忘など
		身体症状症および関連障害群	苦痛を伴う身体症状があり，深刻に悩み強い不安を感じる（(W) 症），実際はそうでないのに重い病気なのではないかと不安になる病気不安症，随意運動や感覚機能の変化の症状があらわれる転換性障害など
		秩序破壊的・衝動制御・素行症	情動や行動の自己制御の障害（反抗挑戦性障害など）
		(X) 症	アルコールや大麻などの物質依存やギャンブルなどの行動嗜癖
		(Y) 症	認知機能の低下が見られ，毎日の活動に支障をきたした状態
		(Z) 障害	パーソナリティの偏り
		その他	神経性無食欲症などを含む (a) 障害，不眠や過眠などを含む (b) 障害など

(障害) …からだの機能の障害	(d) 障害	見えない・見えにくい障害
	(e)) 又は平衡機能の障害	(e) 障害：きこえない・きこえにくい障害 平衡機能の障害：からだの向き、傾きの感覚の受け取りの障害
	(f)) , 言語機能又はそしゃく機能の障害	音声を発することのできない、もしくは発生しても言語機能を喪失した障害
	(g)) 不自由	手や足、体幹などの部位の機能障害
	(h)) 障害	身体疾患のために内蔵の機能が低下したり失われたりする障害

*-----

■精神障害／身体障害の周辺

精神障害と身体障害に分類しがたい障害

(ア) 障害：中枢神経系の損傷によって言語、記憶、思考、行為などの高次脳機能が障害される
(イ) 障害：重度の知的障害と重度の肢体不自由が重複してあらわれる

障害か否かの境界線に存在する疾患

(ウ)) : てんかん発作を主な症状とする脳疾患
(エ)) 障害：先天的・後天的な色の見えかたの違い
(オ)) : 発病の機構が明らかでなく治療方法が確立していない希少な疾病であって、長期にわたり療養を必要とする
(カ)) : 自分で実感して捉えている／外に見える形であらわれているジェンダーと、指定されたジェンダーとの不一致

■学校教育独自の概念

(キ) 障害：選択性緘黙や不登校、非行など、学校や家庭での適応の困難
(ク)) : 病気のため心身が弱っている状態
(ケ)) : 病気ではないが身体の不調が続く
(コ) 障害：視覚障害、聴覚障害、知的障害、運動障害あるいは病弱などを2つ以上併せもっている。とくに精神発達の遅れが著しい、常時介護を必要とする、破壊的行動や自傷などの行動が著しい場合は (サ) 障害

※ 解答欄

A	c
B	d
C	e
D	f
E	g
F	h
G	ア
H	イ
I	ウ
J	エ
K	オ
L	カ
M	キ
N	ク
O	ケ
P	コ
Q	サ
R	
S	
T	
U	
V	
W	
X	
Y	
Z	
a	
b	